

1. 件名：東京電力に対する適格性判断の再確認に向けた事前面談

2. 日時：令和5年7月20日（木） 16：30～18：10

3. 場所：原子力規制庁 2F中コア会議室／オンライン会議

4. 出席者

原子力規制庁 検査監督総括課 武山課長、村上課長補佐、米林上席検査監視官  
専門検査部門 中田企画調査官

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 保安全管理グループ グループマネージャー 他3名

（以下、オンライン会議システムによる出席）

原子力規制庁 柏崎刈羽原子力規制事務所 渡邊所長、杉岡原子力運転検査官

東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所

原子力安全センター所長 他2名

5. 要旨

令和5年7月12日第21回原子力規制委員会では承された「東京電力ホールディングス株式会社に対する平成29年の適格性判断の再確認の進め方」を受けて、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）より配付資料に基づき、公開会合に向けた準備内容について確認があった。

原子力規制庁からは、次のように回答した。

- ・公開会合の資料では、保安規定に定める基本姿勢の項目ごとに、具体的な取組事例があると議論しやすい。
- ・公開会合は、議論の内容によっては複数回行うこともあり得る。
- ・公開会合後の検査では、発電所又は本店でのマニュアルやエビデンスの確認とともに、必要に応じ関係者にインタビューすることもあり得ると考えている。品質マネジメントシステムの運用に係る年次検査のイメージである。なお、検査結果の原子力規制委員会への報告は、定例の四半期毎の報告とは別に行うつもりである。

東京電力より、本面談を受けてこれから公開会合の資料の構成を検討するので、公開会合前、再度面談を要望する旨の回答があり、原子力規制庁は、了解した。

6. 配布資料

- ・東京電力HD（株）平成29年の適格性判断の再確認 事前準備について